医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	帝王切開術既往妊婦の経腟分娩における 肛門括約筋損傷リスクの検討
研究責任者	山口真由
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	帝王切開術後の経腟分娩（VBAC）では、分娩時に肛門括約筋損傷の頻度が上がる可能性が報告されています。 当院での分娩統計を用いて、VBAC と肛門括約筋損傷の関連性について研究を行い、周産期医療の向上に寄与することを目的としています。
研究方法	【研究の方法】 対象は、2008 年 1 月～2021 年 12 月の間に当院で経腟分娩を行った初産婦と帝王切開術後に経腟分娩した産婦です。 診療録の情報をもとに、肛門括約筋損傷の頻度や肛門括約筋損傷のその他のリスク因子（年齢、鉗子・吸引分娩など）についての情報を収集し、後方視的に分析を行います。 【個人情報の保護】 個人情報の保護に十分配慮したうえで行います。個人が特定されないよう匿名化を行うことで、誰のデータか分からないようにし、統計解析を行います。 【研究結果の公表】 研究の成果は、学会や論文に公表されます。 本研究の対象となることを希望されない場合は下記までご連絡ください。なお研究に同意されない場合であっても、不利益を被ることはございません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター産婦人科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22 担当者：山口　真由 TEL：03-3400-1311　　FAX：03-3409-1604